AGU Future Eagle Project

【2022年度　奨励学生応募申請書】

1. 研究計画調書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題 |  | | | | |
| 入学/進級後の所属  （研究科・専攻） |  | | | | |
| 入学/進級後の学年 |  | | | | |
| 氏名 |  | | | | |
| 指導予定教員  （未定の場合は「未定」と記入） | 研究科：  職名：  氏名： | | | | |
| 研究経費執行計画  （単位：円） | 物品費 | 旅費 | 謝金 | その他 | 合計 |
|  |  |  |  |  |
| 外国語能力  （英検、仏検、TOEIC、IELTS他） |  | | | | |
| 今まで獲得した  研究費、奨学金、論文報奨等 |  | | | | |
| 職歴（TA等） |  | | | | |

1. 研究内容について（適宜指定されたページ数分、増やして書式を使ってください）

|  |
| --- |
| 本研究の目的と方法などについて4ページ以内で記述すること。冒頭にその概要を（8～10行）簡潔にまとめて記述し、本文には以下を記すこと。  （1）本研究の目的・研究方法・研究内容  （2）本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか  （3）本研究の特色・独創的な点（先行研究との比較、本研究完遂時に予想されるインパクト、将来の見通し）  （4）研究に関する自身の強み  （5）今後研究者としてさらなる発展のために必要と考えている要素  （6）目指す将来像（トランスファラブルな人材として、どのような知見・能力を自身の研究キャリアを通じて開発したいと考えているか。）  （7）上記の目指す将来像に向けて本プログラム期間中に行う研究活動の位置づけ  （注）上記は異分野の人が理解できるように記述してください。 |

（概要）

（本文）

（1）

（2）

（3）

（4）

（5）

（6）

（7）

1. 応募者の研究遂行能力

|  |
| --- |
| 応募者の研究計画の実行可能性を示すため、   1. これまでの研究活動 2. これまでの研究業績（論文、学会発表等）   について、1ページ以内で記述すること。 |

（1）

（2）

Future Eagle Project　奨励学生応募者アンケート

（応募にあたり、必ずご回答ください。ページ数が不足する場合、適宜増やして記載ください。）

1. 短期留学の希望はありますか。

短期留学を希望する場合、どこ（国名、研究機関、研究者名等）にどのくらいの期間、どのような成果を求めて留学を希望しますか。

1. インターンシップの希望はありますか。

希望がある場合、どのようなインターンシップ先を希望しますか。

数字を〇で囲んでください。

1. 一般企業
2. 研究機関（機能）を備えた企業
3. 研究所等
4. 大学等の高等教育機関
5. その他（具体的な記述をお願いします。）
6. 今回のプロジェクト応募に際し、計画している研究を遂行するために、不足している施設・設備（図書等を含む）は、ありますか。

ある場合、それはどのようなものですか。

1. 2022年度公募の日本学術振興会特別研究員制度に応募していますか。

応募している場合、本制度との違いについて、どのように考えていますか。

アンケートは以上です。